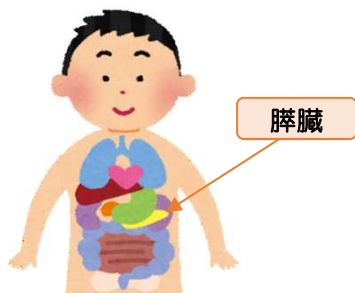


膵機能

膵臓の働きの中に食物の消化を促進する消化酵素（アミラーゼやリパーゼなど）の分泌機能があります。消化酵素は、肝臓でつくられた胆汁と一緒に十二指腸に分泌されて、糖、蛋白、脂肪などを分解し、小腸にて吸収しやすくする働きをしています。

また、ホルモンの分泌により血糖の調節する機能もあります。



項目	説明
アミラーゼ	アミラーゼはでん粉などの多糖類をブドウ糖に分解する消化酵素です。 膵臓の細胞が壊れると血中や尿中のアミラーゼが増えるため、急性膵炎や慢性（再発性）膵炎の診断に役立ちます。しかし腎臓病や高齢者ではアミラーゼを尿に排泄する働きが落ちるため、膵臓に異常がなくても血中アミラーゼ値が高くなることがあります。 アミラーゼは唾液腺からも分泌され、型が少し違います。血中アミラーゼ値が高い場合には、さらにくわしい検査で膵型と唾液腺型とを区別することも行われます。
リパーゼ	リパーゼは中性脂肪を脂肪酸とグリセリンに分解して小腸で吸収しやすくする働きをします。また、血液中にも少し流れ出るので、膵臓に異常が発生すると血液中の濃度も上昇します。急性膵炎や慢性膵炎ですい臓の細胞が壊れると高値を示します。
エラスターゼ1	急性膵炎や慢性膵炎で高値を示します。また、膵臓がんのスクリーニングにも有用です。